

株式会社 Sanko IB、「フォーシーズンズホテル東京大手町」全 190 室に ルームマネジメントシステム LUTRON myRoom とアートを施した照明一体型ミラーを導入

客室のデザインに合わせた照明演出と日本初導入となるアートを施したミラーで ゲストエクスペリエンスの向上に貢献

通信、IT、ビルディング・オートメーション技術のリーディングカンパニーである株式会社 Sanko IB（本社：東京都港区、代表取締役社長 北川 省吾）は、2020年9月1日（火）オープンのフォーシーズンズホテル東京大手町の全 190 室に、ホスピタリティ業界向けルームマネジメントシステム LUTRON myRoom、及び、全面にアートを施したテレビ・照明一体型ミラーを導入しました。

LUTRON myRoom は、世界中で展開されているラグジュアリーホテル約 250,000 室に導入実績のある、ホスピタリティ業界向けに開発されたルームマネジメントシステムで、多くの著名デザイナーが手掛けたホテルに採用されています。Sanko IB のビルディング・オートメーション・システム Niagara Framework®との連携により、客室の扉を開けた瞬間に、照明とカーテンが連動したおもてなしの演出「ウェルカムシーン」や夜景を楽しむための「ナイトシーン」といった各種シーン設定、照明の調光やカーテンの開閉、エアコンの制御をボタン 1 つで再現するほか、オペレーション面では、PMS（ホテル管理システム）によるチェックイン、チェックアウト、ゲストの在室・不在、MUR(Make Up Room)、DND(Do Not Disturb) といったホテルステータスの一元管理を実現します。

また、バスルームには、最大幅 2800mm、高さ 1700mm のシームレスな大型ミラーが採用されました。ミラー全面には、世界的なデザイナーであるジャン・ミシェル・ギャシー氏が率いる、「デニストン・インターナショナル・アーキテクト・アンド・プランナーズ」がデザインを手がけたエングレービングによるオリジナルアートが施され、照明が一体化。一部のグレードの客室では、ミラー中央にテレビが埋め込まれた芸術性とエンターテインメントが融合した本邦初の製品です。



LUTRON myRoom を導入した客室



アートを施した照明一体型ミラー

ルームマネジメントシステムの主な特徴

- 空調、照明、カーテンだけでなく、様々なホスピタリティ業界向けシステム、客室管理システム、ビル管理システムなどとの連携・統合および、中央管理が可能
- 空調や照明の低電力化
- データ蓄積によるトレンドの把握と業務改善
- 在室・不在、チェックアウトなどの客室の状態やゲストの要望を一括管理するユーザーインターフェースのフルカスタマイズとオペレーションの効率化

照明一体型ミラーの主な特徴

- ミラー全面へのレーザーエングレービングによるオリジナルアートの施工が可能
- 照明が一体化したシームレスな大型ミラー
- リモコン操作によるテレビ視聴

当社では、ホスピタリティ業界の様々なグレードのビジネスに貢献すると共に、今後も当社のサービスを活用し、ホスピタリティ業界のみならず、公共施設や病院、オフィス環境など様々なシーンへの導入も検討しております。当社の最新情報につきましては、<https://www.sanko-ib.co.jp/> をご覧ください。

■フォーシーズンズホテル東京大手町について

フォーシーズンズホテル東京大手町は、常に進化を遂げ続ける東京の街に、2020年9月1日にオープンいたしました。遠くに富士山を望み、眼下には皇居の森が広がる眺望が広がり、最高水準のホスピタリティより創出する次世代のラグジュアリーとライフスタイルを提供いたします。アメリカ合衆国でもっとも大きい建築設計事務所、スキッドモア・オーウィングズ・アンド・メリル (Skidmore, Owings & Merrill) が手掛けた、39階建てビルの最上階の6フロアにあり、ホテルインテリアは、ジャン・ミシェル・ギャシー (Jean-Michel Gathy) 率いるデニストン (Denniston) によるもので、日本の美学と360°のパノラマビューを活かしたデザインになっています。東京メトロと都営地下鉄が乗り入れる大手町駅より直結、ターミナルである東京駅からも徒歩圏内。都内のみならず日本の各地への移動にも便利です。公式サイト：<https://www.fourseasons.com/jp/otemachi/>

■LUTRON myRoom について

LUTRON myRoom は、快適で居心地の良い環境をつくり、第2の我が家にいるような感覚を提供するホテルゲストルーム専用に開発された次世代コントロールシステムです。Sanko IB のビルディング・オートメーションシステム「Niagara Framework®」を使用したオートメーションプログラムとの連携により、ゲストルームの照明やエアコン、カーテン開閉の制御、在室/不在検知、さらには、ホテル特有のシステムであるPMS(ホテル管理システム)や、ビル全体の制御をおこなうBMS(ビル中央制御システム)と連携できる拡張性の高いソリューションです。客室の状況に応じて、照明、空調の設定温度、カーテンの開閉の制御をおこない、太陽光による室温上昇を和らげつつ、空調負荷を削減します。ご希望の機能や予算、ご要望に合わせて、カスタマイズできるのも特徴です。

■照明一体型ミラーについて

海外のホスピタリティ業界を中心に多数導入されている芸術性、エンターテインメント性に優れた照明一体型のミラーです。ミラーとしての機能はもちろんのこと、エングレービングによる繊細なアートをバックライトで浮かび上がらせることや、テレビを楽しむことのできるミラーです。

■株式会社 Sanko IB について

1986年設立。通信、IT、ビルディング・オートメーション技術のリーディングカンパニーで、人々が暮らす、働く、眠る、遊ぶ空間をより快適に設計する『HUMAN CENTRIC BUILDING AUTOMATION (ヒューマン・セントリック・ビルディング・オートメーション) : 人間を主体としたビルディング・オートメーション』をミッションに、スマートビル、スマートホテル、スマートデータセンター、スマートオフィス、スマートネットワーク、スマートエネルギーの6つのソリューションを提供しています。ザ・プリンスギャラリー東京紀尾井町、東武ホテルレバント東京、アマン京都、SORANO HOTEL など多数のホテルへの導入実績を持つ。詳細は <https://sanko-ib.co.jp/> をご覧ください。

- 製品に関するお問合せ先 株式会社 Sanko IB スマートホテル営業部 営業担当
- 報道からのお問合せ先 株式会社 Sanko IB マーケティング部
TEL: 03-5730-2530 FAX: 03-5730-2536 MAIL: SankoIB_Sales@sanko-ib.co.jp